

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO, ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

# La Movado

komuna organo de KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ KJUŜUA ESPERANTO-LIGO, ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU

## Fondita en 1951 N-ro 827 januaro 2020

komuna organo de:

KANSAJA LIGO de ESPERANTO-GRUPOJ  
Sone-higasi 1-11-46-204, Toyonaka-si, Ôsaka-hu, 561-0802

KJUŜUA ESPERANTO-LIGO  
2-190, Sisaido, Tarami-tyô, Isahaya-si, Nagasaki, 859-0407,  
MORIWAKI Yasumasa

ESPERANTO-LIGO de TYUGOKU kaj SIKOKU  
Kannonmen 14-1, Kusiki, Kitanada-tyô, Naruto-si,  
Tokusima-ken, 771-0371, KITANI Tomoko

## ENHAVO

第20回中国・四国エスペラント大会に63人……小阪 清行 1-2  
香川・琴平の中国・四国大会に参加……………西千寿子 2  
楽しい作文教室(101)……………塚本 猛 3  
Kajero Libervola: Mia sperto de Esperanto-sumoo  
……………SIMAZU Jasuko 4  
鈴置二郎さん追悼『幸せなエスペラント人生』  
……………津田 昌夫 5  
対訳: 源氏物語 第35帖 若菜下(11)  
……………紫式部 / belmonto 6-7  
Kurantaj Vortoj (桜を見る会ほか)……………7  
長崎で Bronŝtejn 講演……………盛脇 保昌 8  
第68回関西エスペラント大会……………浮田 政治 8  
ポリグロット・コンフェレンス(1)……………瀬下 政也 9  
楽譜“Al jaraj bestoj mankas kato”(G線上のアリア)  
……………J. S. BACH / SIMATANI Takesi 10-11  
昔話“Kato kaj dek du jaraj bestoj”……SIMATANI Takesi 11  
初心者のための語尾なし単語の使い方(83)……相川 節子 11  
Salono……………光川 澄子、北川 昭二 12  
La Movado: 吹田でふれあい講演会、ほか……………13  
Vortkruca enigmo / 作文教室成績……………14  
Mikspoto / 作文教室課題……………15  
KLEG 事務局だより / KLEG 後援会にご協力を……………15  
編集ノート……………16

## 10月26日(土) ~ 27日(日) 香川県琴平町で

# 第20回 中国・四国エスペラント大会に 63 人

小阪 清行 (香川県)

日時: 10月26日(土) ~ 27日(日)

場所: 26日は「こんぴら温泉湯元八千代」(宿泊と分科会)。27日は「琴平町文化会館」。

主催: 香川エスペラント会と阿波エスペラントクラブ

共催: 中国・四国エスペラント連盟 ほか

後援: 関西エスペラント連盟 ほか

大会記念品: つばき油(徳島エス会の矢野明徳さん製造)と黒ニンニク(香川エス会の赤松喬志さん製造)

参加者: 実参加 57 (うち海外参加者 6)、不在参加 6。合計 63 人。

## 10月26日(土)

ホテルで宴会のあと、2つの分科会を実施。

「フィンランド UK の旅」(長町重昭さん)

“Ni parolu libere kun eksterlandaj Esperantistoj” (Cyril R. Vergnaud さん担当、エスペラント名: Cirilo)。

その後連盟幹事会が開かれたが、次期開催地に関して、高齢化や人手不足のため、すんなりとは決まらなかった。開催地は徳島と決まったものの、開催年は来年は無理で、数年後となる見通し。



左から ges-roj Cirilo el Tajvano, Alejandro el Hispanio, Unika el Koreio, Ben el Belgio, Stanislaw el Pollando

10月27日(日)

開会式で、原田英樹さんが連盟の物故者を紹介し、黙祷が捧げられた。JEI と KLEG の挨拶の後、3つの講演が続いた。

“**kulturaj malsamecoj**” (Cyril R. Vergnaud さん) Cirilo さんは台湾在住のフランス人で、内容は主としてフランス・台湾の文化の比較についてだった。多くの画像を使って分かりやすいエスペラントで説明。

『私のエスペラント人生』(三好鋭郎さん) 約30年に渡るエスペラント普及活動について報告。特にエスペラントを、EUの共通語に採用させるべく運動したスケールの大きな話だった。

『エスペランティスト俳優、佐々木孝丸について』(砂古口早苗さん) 演劇界の重鎮であり、熱心なエスペランティストであった佐々木孝丸に関する5年間の研究の成果を熱く語られた。

講演の後は、2つの分科会を実施。

『日本の椿が世界をつなぐ』(矢野明徳さん担当) 椿がエスペラントのように世界交流をしながら変遷してきた、その足跡。



三好鋭郎さん

『「蟹工船」翻訳の裏話』(島津泰子さん担当) 堀泰雄さんと共訳するに至った動機、背景、苦労話など。

より詳しい報告や写真については、大会 HP の上から3行目の「大会終了 お礼と報告」で読んでいただければありがたいです。

[http://koki.o.oo7.jp/2019\\_informilo.htm](http://koki.o.oo7.jp/2019_informilo.htm) → 「第20回中国・四国エスペラント大会」でヒットします。

## 香川・琴平の中国・四国大会に参加

西 千寿子 (京都府)

10月26日(土)～27日(日)、香川・琴平での中国・四国エスペラント大会に参加した。正直、観光も目的だったので、大会が、26日18時から夕食を兼ねた交流会から始まるというスケジュールは有難かった。

琴平への途中で丸亀城に寄った。急坂にあえぎながら天守閣まで上がった。讃岐富士や瀬戸大橋が望めて、敷地内では紅葉も始まっており、私の気持ちも秋に染まった。琴平では、金刀比羅宮へは千もの階段なので敬遠し、金丸座へ行った。なんと四国中から素人集団が集まっての歌舞伎が行われており、無料で中に入れ、歌舞伎も見ることができてラッキーだった。

会場宿舎の受付で貰った大会資料の袋には、記念品として参加者からの提供による「自家製黒ニンニク」と「食用椿油小瓶」が同封され嬉しかった。

18時より宿舎にて、木谷奉子さんの進行による交流会が、豪華な夕食をいただくなかで進められた。

2020.1

まず、木谷さんお手製の個人番号つきのビンゴ用紙が配られた。読み上げられた番号を各人がビンゴ用紙とつき合やす。そしてその個人番号に該当した人が自己紹介をするというユニークさ。

ビンゴになった人は、これも用意された様々な品のうちから好きなものを受け取れるという、二重三重に楽しめる用意周到なものだった。惜しかったのは、ちょっとざわついたので、自己紹介がよく聞こえなかった方があったこと。

次に、これも木谷さんたちが「エスペラント語によるじゃんけん」を披露。そして地元の方2人に誘導してもらって参加者が「金比羅船々」を即席で踊った。その後、2つの分科会があったが、私は同室の人や馴染みの方と部屋でおしゃべりがはずんでしまったので参加しなかった。

27日(日)は、場所を移して大会本番。講演3つのうち、フランス人で台湾在住の人が、「文化の違いについて」と題して、写真なども使って8項目別に話されたのが大変興味深かった。残念だったが、午後の分科会には出ず、帰りの途についた。



①彼は熟練した機械技術者だった。

【訳例 1】Li estis lerta maŝiningeniero. (Eiko)

【訳例 2】Li estis lerta inĝeniero pri mekaniko. (Ivajo)

【訳例 3】Li estis lerta mekanika inĝeniero. (Drako)

「熟練した」には lerta (巧みな) や sperta (経験を積んだ)、veterana (老練の) などが考えられます。用例には lertulo (達人)、lertiĝi (上達する)、spertulo (熟練者) があります。

「機械技術者」は maŝino (機械) と inĝeniero (技術者) から、maŝiningeniero が考えられます。inĝeniero の用例には inĝeniero pri minejo (鉱山技師)、elektroinĝeniero (電気技術者) があります。mekaniko (力学) を使い mekanikisto (機械工学者) も考えられます。aplikata mekaniko (応用力学)、mekanikigi (機械化する) などの用例があります。

②彼はある工業高校で教師になった。

【訳例 1】Li fariĝis instruisto de iu teknika lernejo. (AG, CA, ヒー坊, Ivajo)

【訳例 2】Li fariĝis instruisto en iu mekanika altlernejo. (Haveno) ⇨ 解説

【訳例 3】Li fariĝis instruisto en la industria supera mezlernejo. (Drako) ⇨ 解説

「高校」は、国によって教育制度が異なるので、単純に altlernejo (高等学校) にはできません。日本の工業高等学校は、ISCED (国際標準教育分類) では後期中等教育のようです。この分類の高等教育は、日本では大学、高等専門学校レベルのものになります。訳例 2 は、一般教育ではなく mekaniko (機械学) の教育ですし、mezlernejo (中学校、高等学校) のほうがいいと思います。

訳例 3 のように la を使うと、題意とは違って、特定の学校で教師になったという意味になります。supera mezlernejo という表現は、米国の senior high school (高校) の 에스ペラント訳でしょう。supera lernejo にすると大学レベルの学校という感じがしますし、industria (産業の、工業の) が

あるので supera は不要だと思います。

③しかし教科書は生徒の興味をひかなかった。

【訳例 1】Sed la lernolibro ne interesis la lernantojn. (水渡, ヒー坊, Celejo)

【訳例 2】Tamen la lernolibro ne altiris la intereson de studentoj. (Drako) ⇨ 解説

【訳例 3】Tamen lernantoj ne interesiĝis en lernolibroj. (Haveno)

「教科書」は lernolibro (教科書) が使えます。「生徒」は lernanto でいいでしょう。訳例 2 の studento (学生) は、大学や、同様の高等教育を行うところで研究している人を指します。中等教育を受けている高校生は lernanto でいいと思います。

「興味をひく」には interesi iun (興味を抱かせる) が使えます。主語は、興味を抱かせる物事であることに注意が必要です。人を主語にする場合は、訳例 3 のように interesiĝi を使ったり、受動分詞形容詞を使ったりします。

この課題の「教科書」は、初等教育・中等教育で使用する「教科用図書」を指します。講習会等を使うものなら kursolibro、教科書以外に instruilo (教材)、lernmaterialo (学習教材) もあります。

④彼は自分の教科書を作ることを決心した。

【訳例 1】Li decidis fari sian propran lernolibron. (ヒー坊, ikona, Drako)

【訳例 2】Li decidis kompili lian propran lernolibron. (Celejo) ⇨ 解説

【訳例 3】Li decidis verki propran lernolibron. (綴り修正: Ivajo)

「自分の」は、自分独自のという意味だと考えれば、unika (独特の)、propra (固有の) があります。「教科書を作る」ですが、日本の学校では、著作・編集、検定が済んで、採択、発行された教科書を使用します。「作る」には、fari ion (作る)、verki ion (著作する)、kompili ion (編纂する) や eldoni ion (出版する) も考えられます。高等学校等で、適切な教科書がないなどの特別な場合には、検定済み以外の図書を使うことが許可されることもあるようです。

訳例 2 は lia propra を使っているので、主語の「彼」とは別人物である「彼」の教科書を作ることになってしまいます。

成績は p.14、新しい課題は p.15

## Mia sperto de Esperanto-sumoo

ŜIMAZU Jasuko (Okajama)

Esperanto 読書相撲は、日本の大相撲と並行して行われる。世界の仲間と喜びを共有しEsperantoを続けながら力をつける最高の近道です。

初めは 20 数人の日本人のみでしたが、今では 30 数か国から 300 人を超える力士が参加しています。

En oktobro 2009 mi partoprenis en la Japana kongreso en *Kofu*. En la kongresejo iuj partoprenantoj interparolis: “Gratulon pro via perfekta venko en la sumoo.” “Dankon, mi penis kaj penis.” Mi tute ne komprenis ilian konversacion. Reveninte en nian kurson, mi demandis tion al la gvidanto, s-ro *Arai Tosinobu*. Li respondis, ke Esperanto-sumoo okazas paralele al Japania tradicia sumoo. Kaj li rekomendis al mi, ke mi sendu jenan datumon pri mi al s-ro *Hori Jasuo* per reto kaj partoprenu en la sumoo.

1. Miaj sumoo-nomo, vera nomo, sekso, urbo kaj lando.
2. Titolon de la libro, kiun mi legos, kaj kvanton de paĝoj, kiun mi legos en unu tago dum sumoo-periodo.

Unuan fojon mi partoprenis en la Esperanto-sumoo en novembro 2009, nome en la 2a Esperanto-sumoo. Tiam mi estis vera komencanto de Esperanto, ĉar mi eklernis ĝin antaŭ unu jaro. Mi elektis libron “Raportoj el Japanio 10” donacitan de s-ro *Arai*. Tro kuraĝe mi promesis legi unu raporton ĉiutage, kiu havis averaĝe 6~7 paĝojn. Tiutempe mi bezonis 7~8 horojn por plenumi tiun promeson. Dume mi faris malgrandajn kartojn pri nekonataj vortoj. La nombroj de la kartoj fariĝis ĉirkaŭ 60 ĉiutage. Mi devis legi frumatene, vespere, nokte. Ekde la 2a Esperanto-sumoo ĝis nun, mi neniam malvenkis, tial mia nuna numero estas la 3a en la rango A.

Komence s-ro *Hori* prove okazigis la sumoo-n nur por japanoj, sed konstatinte, ke ĝi estas tre utila por ĉiuj esperantistoj, li okazigis ĝin internacie en marto 2010. En novembro 2019 okazis la 60a konkurso kaj partoprenantoj estis 308 el 35 landoj.

Antaŭ la Japania Katastrofo “Raportoj el Japanio” konsistis el novaĵoj en Japanio, sed poste la raportoj temas ĉefe pri la katastrofo. Tial mi sentis malĝojon kaj kortuŝon, precipe pri la sufero de *Fukuŝima*-anoj. Mi volis ĉesi legadon, kiam mi preskaŭ sufokiĝis pro la tragedio. Tiam mi aŭdis voĉon de Dio. “Ne rezignu. Klopodu legi libron.”

Lastatempe por la sumooj mi promesas legi po 8 paĝoj kaj por tio mi nun bezonas nur unu horon kaj duonon. Unuan fojon mi legas silente, kaj duan fojon mi voĉlegas. Mi surpriziĝas kiel rapide mi povas legi nun, kaj samtempe mi rimarkas kiel malmulte aperas nekonataj vortoj.

La verkisto de “Raportoj el Japanio 20” s-ro *Hori Jasuo* skribis en la antaŭparolo de tiu ĉi libro. “Ĉu niaj filoj kaj nepoj povos vivi pace? Ni malfortaj homoj devas kunlabori solidarece. Mi esperas, ke miaj Raportoj eĉ iom kontribuos por fari pacan mondon.”

Mi ne povas skribadi kiel li, sed mi povas legadi liajn verkojn.

Mi esperas, ke mia legado eĉ iom kontribuos por fari pacan mondon.

Dank’ al la sumoo, mi povis legi ankaŭ aliajn librojn, ekzemple “Taglibro de Anne Frank”, “Gooŝ la ĉelisto”, “La Eta Princo”, “Japania Literatura Juvelaro”, “Krabŝipo” ktp.

Dank’ al la sumoo, mia mondo fariĝis vasta kaj profita, kaj mi amikiĝis kun alilandanoj. Mi decidis esti fidela luktisto de la Esperanto-sumoo.

Mi skribos en la venonta kajero pri Esperanto en la nokta programo de *NHK*.

## 幸せなエスペラント人生

津田 昌夫 (愛知県)

2007年の横浜での世界エスペラント大会で、鈴置二郎氏が奥様と一緒に参加された時に久しぶりにお話しできたのが、私にエスペラントの存在を教えて下さった「私のエスペラントの先生」の一人に、親しくお会いできた最後の機会となった。その後、奥様を亡くされ、特養に入られて、一方、私は名古屋へ引っ越したので、年賀状のやり取りだけになっていた。この度ご長男からの葉書によって、96歳で亡くなられたと知り愕然としている。

私が、1963年に武田薬品に入社し、配属された先が研究所の生物部門で、上司が鈴置氏であった。翌年に学卒女子が加わった時に、氏は会社の昼休みを利用し、JEIから取り寄せたネズミ一家の挿絵がついた教科書を使って、私たち新人2人と2、3年先輩の学卒所員を加えた4人に対し「エスペラントを教えてやる」と言われた。4、5回続いた後、忙しくなられたのか、愛想をつかさされたのか、会社が引けてから、芦屋エスペラント会に連れていかれ、「後は好きにやれ」とばかりに放り出された。日々、外国の文献で最先端の研究を知ることが必須の研究職では、もちろん、エスペラントよりも英語で、結局誰もエスペラントを続けることはなかった。私事だが、私はその頃京都に住んでいたもので、1964年暮れに、京都でのオードビン女史が講師のチェ・メトードによるエスペラント講習会に参加し、自動的に京都エスペラント会会員になっていた。講習が終わるとともに私のエスペラントも終わり、しかし、まったく読まない“La Movado”だけは、書棚の上に山積みされていった。1975年の春、突然、「京都エスペラント会の会計の八木ですが」と電話があり、休眠会員の一人だけど、高槻の関西大会に不在参加でも良いから参加してほしいとのこと。これが「もう一人の先生」、八木幹子さんである。こんなことを書かせてもらったのは、人がエスペラントに熱中することになるきっかけは、偶然のいたずらのようなものがあると、自身の経験で知ったからである。エスペラントを広めたいと思うなら、



前列右側が鈴置夫妻

「折あるごとに種まきを」ということを知ってほしいからだ。後年、鈴置氏に「結局、エスペラントをやってくれたのは津田君だけか」と言われ、少しは上司を喜ばすことができたかとうれしく思ったものだ。

氏は、いわゆる、ブルジョワ・エスペランティストで、特定のジャンルに限った、本格的な切手の収集をはじめ、居間には鉄道模型のレールが敷いてあり、もちろん機関車類は設計図を見ながらの手作り、六甲山の野草を採取し、自宅の庭に移植したりと、すべて玄人はだし。本職の研究でも、インチキを許さず、手抜きはすぐ見破り、手きびしく非難。とても怖い上司であった。オルグを作り地方組織を固めといったKLEGの運動のやり方には批判的で、「話せる・使うエスペラント」が口癖。神戸エスペラント会とは別組織の神戸エスペラント協会で活動され、由利忠勝、宮本新治ら大ベテランのいる芦屋ロンドと一緒にザメンホフ祭などを楽しんでおられた。そして、奥様と何度も世界大会に参加された。私たち夫婦の仲人であり、アデレードの世界大会では、重役、顧問としてキャリアを終えられて、悠々自適の生活を楽しんでおられるご夫婦と、私たちはご一緒出来た。奥様は手書きで、長年にわたって、まるで親戚つきあいでもするように、エスペラント文通を楽しまれていた。1994年にノルウェーからクリスチャン、クヴァクランドら3人の若者が日本へ来たときに、「君とこへ一人泊めてくれへんか」と言われ、翌日は「京都を案内してやってくれ」と上司命令。祇園祭真っ只中の暑い夏の日で、私も鉾の巡行を結構楽しんだのだけれど。後から「あのうちの二人はゲイのペアで、一緒に泊めるわけにはいかんかったのや」と言われた。「ヒマな時に、図書室のゼロックスで、表紙から全部コピーしておいてくれ」と、JEIから借り出した数十冊の“La Revuo Orienta”を渡されたこともあった。頻繁に新型機種に入れ替わるゼロックスの使用に馴れるのが面倒だったのか、秘書に頼むのに気が引けたからか。それらは、自費出版された『神戸のエスペラント(年表と随想)』の資料になったのだ。

氏は、企業人としても成功されたが、また、入門講座の雑事や大会の運営などに煩わされるのが全くない、幸せなエスペラント人生を存分に楽しまれた。「私の先生」の冥福を心から祈る。

El “Rakontaro Genĝi”, 11-a jarcento

源氏物語 第 35 帖 若菜下 わかな げ

## Wakana B – Juna Verdaĵo B (11)

*eljapanigis belmonto*

Lia fizionomio ŝajnis ne falsa, kaj Denta Kverko hontis kontraŭ si, sentante, ke lia koloro de vizaĝo ŝanĝiĝis, sekve ne povis tuj respondi. Denta Kverko:

“Mi aŭdis, ke vi estas ĉagrena, zorgante viajn malsanulojn dum monatoj. Ankaŭ ĉe mi okazis tiel nomata beribero ĉe la kruroj, kion mi suferis de antaŭe, kaj fariĝis ne firme stariĝi. Tio progresis laŭ monatoj, kaj baris min de irado al la kortego, kaj finfine enfermis min en la domon, distranĉante ĉiun rilaton kun la socio. Mia patro diris al mi, ke nun estas la jaro, kiam *Suzaku* aĝas ĝuste kvindek, tial ke li devas gratuli tion per strikte kalkulita maniero, kaj ke li jam demetis la oficialan kapornamaĵon kaj formetis la ĉaron, kaj tial li ne havas lokon sidi por servi al li, kaj ke mi montru mian sinceran profundan koron kiel sama vasalo, eĉ se mi estas ne altranga. Li tiel stimulis min, sekve mi vizitis vin, tolerante mian gravan malsanon. *Suzaku* pasigas trankvilan vivon en servado al Budho en ĉi tiuj tagoj, kaj ŝajnas ne esperanta pompan regalon. Preterlasi komplikajon en la evento kaj plenumigi lian deziron trankvile rakonti estas pli bona ideo.”

Aŭskultante la parolon de Denta Kverko, *Genĝi* juĝis lin prudenta, ne parolante pri lia administrado de la pompa evento per la dua princino, lia edzino, nur respondece al la patro.

“Ĝuste vi diras. Se mi malmultigos la enhavon de la evento, oni malbone diros min sen malprofunda bonkoro. Sed vi agnoskas mian ideon, do la mia estas bona. Mia *dajŝaŭo* fariĝas respondeca en la oficiala evento, sed li ŝajnas ne taŭga en eleganta agado. *Suzaku* 2020.1

とのたまふ御気色の、うらなきやうなるものからいと恥づかしきに、顔の色違(たが)ふらむとおぼえて、御答(いら)へもとみにえ聞こえず。

「月ごろ、方々(かたがた)に思し悩む御こと承り嘆きはべりながら、春のころほひより、例もわづらひはべる乱り脚病(かくびょう)といふものところせく起こりわづらひはべりて、はかばかしく踏み立つることもはべらず、月ごろに添へて沈みはべりてなむ、内裏(うち)などにも参らず、世の中跡絶えたるやうにて籠(こも)りはべる。院の御齡(よはひ)足りたまふ年なり、人よりさだかに数へたてまつり仕うまつるべきよし、致仕(ちじ)の大臣(おとど)思ひおよび申されしを、冠(かうぶり)を挂(か)け、車を惜しまず棄ててし身にて、進み仕うまつらむにつく所なし、げに下臈(げらふ)なりとも、同じごと深きところはべらむ、その心御覽ぜられよ、ともよほし申さるることのはべりしかば、重き病(やまひ)をあひ助けてなん、参りてはべりし。今は、いよいよいかすかなるさまに思し澄まして、いかめしき御よそひを待ちうけたてまつりたまはむこと、願はしくも思すまじく見たてまつりはべりしを、事どもをばそがせたまひて、静かなる御物語の深き御願ひかなはせたまはむなん、まさりてはべるべき」

と申したまへば、いかめしく聞きし御賀の事を、女二の宮の御方ざまには言ひなさぬも、労(らう)ありと思す。

「ただかくなん。事そぎたるさまに世人(よひと)は浅く見るべきを、さはいへど、心得てもものせらるるに、さればよとなむ、いとど思ひなられはべる。大将は、公方(おほやけがた)は、やうやう大人(おとな)ぶめれど、かうやうに情(なさけ)びたる方は、もとよりしまぬにやあらむ。かの院、何ごとも心及びたまはぬことはをさをさなき中(うち)にも、楽(がく)

estas la specialisto en ĉiuj direktoj, sed precipe entuziasma kaj tre lerta en muziko. Se li volas aŭskulti en trankvila koro, nun ni devas priatenti. Bonvolu zorgi kune kun la *dajŝaŭo*, kaj instrukciu la pretecon kaj artistecon al la infano-dancontoj. Specialisto estas sentaŭga, krom la arto de sia profesio.”

*Genĝi* petis de li ĝentile. Denta Kverko sentis en si ĝojinda sed dolorige prema, sekve kun malmultaj vortoj volis foriri de li. Fine li elŝtele foriris de tie sen intimaj alparoloj.

Denta Kverko iris al la orienta domo, kaj aldonis fajnajn plibonigojn al fasonoj kaj aliaj de la muzikistoj kaj dancistoj, kion elpense preparis la *dajŝaŭo*. La lasta klopodis por plejbelo, sed pli precize priatenta revizio estis aldonita. Li fakte ŝajnis tre talenta persono en ĉi tiu arto.

Hodiaŭ estas la tago de provludo en *Rokudeŭvin*. *Genĝi* pricipre preparis por virinoj ĝui fascinan ludon, kiuj ne povas oficiale spekti antaŭ *Suzaku*. En la oficiala evento la dancinfanoj vestas sin per hela ruĝbruna survesto kaj ruĝpurpura trenbasko, sed hodiaŭ per blueca ruĝbruna survesto kaj purpura subvesto kun ruĝa subŝtofo. La tridek muzikistoj vestis sin per blanka vesto kun trenbasko. Ili okupis la koridoron al la sudorienta surlageta friskodomo kiel la orkestrejo, kaj ludis la ĥinstilan G-maĵoran melodion “Asketo ludas en Nebuleto”. Neĝis iom. La printempo sentiĝis proksima, kaj umearboj jam ekburĝonis bele. *Genĝi* sidis en la ĉambro interne de la bambukurteno, kaj apud li sidis nur la princo *Ŝikibukjaŭ*, la patro de *Violo*, kaj *Dekstra Ministro*, *Nigra Barbo*. Aliaj malpli altrangaj *kamdatimoj*\* estis en la kradplanka ĉambro, kaj manĝaĵoj estis simple servitaj, pro ne oficiala tago de la evento.

(daŭrigota)

\*kamdatimo 上達部 (かんだちめ)

*La Movado* 827

の方(かた)の事は御心とどめて、いとかしこく知りととのへたまへるを、さこそ思し棄てたるやうなれ、静かに聞こしめし澄まさむこと、今しもなむ心づかひせらるべき。かの大将ともろともに見入れて、舞の童(わらは)への用意心ばへよく加へたまへ。物の師などいふものは、ただわが立てたることこそあれ、いと口惜しきものなり」

など、いとなつかしくのたまひつくるを、うれしきものから苦しくつつましくて、言少(ことずく)なにて、この御前(おまへ)をとく立ちなむと思へば、例のやうにこまやかにあらでやうやうすべり出でぬ。

東(ひむがし)の御殿(おとど)にて、大将のつくろひ出だしたまふ楽人(がくにん)舞人(まひびと)の装束(さうぞく)のことなど、またまた行ひ加へたまふ。あるべき限りいみじく尽くしたまへるに、いとどくはしき心しらひ添ふも、げにこの道はいと深き人にぞものしたまふめる。

今日は、かかる試(こころ)みの日なれど、御方々(かたがた)もの見たまはむに、見どころなくはあらせじとて、かの御賀の日は、赤き白椽(しらつるばみ)に、葡萄染(えびぞ)めの下襲(したがさね)を着るべし、今日は、青色に蘇芳襲(すほうかさね)、楽人(がくにん)三十人、今日は白襲(しらがさね)を着たる、辰巳(たつみ)の方の釣殿(つりどの)につづきたる廊(らう)を楽所(がくそ)にして、山の南の側(そば)より御前に出づるほど、仙遊霞(せんいうか)といふもの遊びて、雪のただいささか散るに、春のとなり近く、梅(むめ)のけしき見るかひありてほほ笑(ゑ)みたり。廂(ひさし)の御簾(みす)の内におはしませば、式部卿宮、右大臣(みぎのおとど)ばかりさぶらひたまひて、それより下(しも)の上達部(かむだちめ)は、簀子(すのこ)に、わざとならぬ日のことにて、御響応(あるじ)などけ近きほどに仕うまつりなしたり。

(続く)

## Kurantaj Vortoj

計画連休 planita halto de trajnoj  
命を守る行動 ago por protekti vivon  
免許返納 redono de kvalifikilo (pri stirado)  
桜を見る会 ĉerizflora festo

## 長崎で Bronštejn 講演

盛脇 保昌 (長崎県)



菊島和子さんから「長崎で Mikaelo BRONŠTEJN を受け入れて講演をしてもらいたい」との依頼があったのは、彼の来崎の約1年前。長崎市民にエスペラントの存在を示すいい機会ととらえ、受諾可との連絡をした。

長崎でエスペラント語による講演会を実施するのは、私が長崎に来てから既に43年になるが、一度もない。通訳を頼める人もいないので、経験のない私がやるしかないと腹を決めた。まずは経験が大事と5月の九州エスペラント大会で韓国の Ho Song さんのエスペラント語講演の通訳をすることにした。このときは太宰府の松本さんに助っ人を依頼し、半分以上を彼に通訳してもらった。これで経験を積み、通訳とはどんなものかを体験できた。

講演会場は無料の場所を探したい。Bronštejn がロシアに住んでいる人なので、長崎ロシア協会に連絡し、会場候補を聞いた。出島にある出島会館の県民ボランティア活動支援センターがいいとのアドバイスを受け、まず長崎エスペラント会がその会員になり会議室を借りた。長崎ロシア協会には、講演共催の了解も得た。次は広報で人集め。長崎市立図書館、ブリックホールの地球市民ひろば、長崎外国語大学そして長崎大学にチラシを置いたり、配ったりしてもらった。

10月18日(金)の講演数日前に都合により、題目が当初の予定から「イディッシュ語とその文化について」に変更になり、予習ができない。ぶっつけ本番となったが、Bronštejn が易しい言葉で講演してくれたので、何とか通訳できた。

参加者は、全員で13人。結局長崎エスペラント会と長崎ロシア協会がほとんどだったが、長崎大学の戸田教授に授業で紹介してもらった女子学生2人が質疑応答でも積極的に質問していたのが印象的だった。Bronštejn は家族の不幸のため翌日の長崎観光をキャンセルしてロシアへ戻らざるを得なかったことは残念だった。

2020.1

## 第68回関西エスペラント大会

浮田 政治 (高槻エスペラント会)

2020年6月13日(土)、14日(日)に開催される第68回関西エスペラント大会は、高槻では恒例の高槻市民会館(現代劇場)で行われます。

スマホの言語翻訳機能を用いて、異なる言葉を使

う人と意思疎通ができるようになってきてい

る現在でも、異言語者との交流は心の通

った言葉エスペラントで

したい、との思いをこめて大会テーマを Tamen ni

esperantistas (それでもエスペラント)としました。

公開講演として、高槻の名誉市民を語り継ぐ会

会長馬淵晴彦さんをお願いして、高槻の生んだ国

際政治家高碓達之助について、まとめられた資料

を以って「映像で振り返る高碓達之助」を語って

いただきます。

私達の町高槻は、祖先の心をしのぼせる遺跡・史

跡をはじめ、数多くの文化財を持つ由緒のある町

です。そのことを表現する思いで大会シンボルマ

ークに埴輪を取り入れました。

大会前遠足としてシンボルマークに関係する「今

城塚古代歴史館」と今城塚古墳公園の見学と散策

を予定しています。今城塚古墳は6世紀前半では

最大級の古墳で、第26代継体天皇の真の陵とする

説が有力な前方後円墳です。現地訪問にはマイクロバスの使用を考えています。

今回の大会記念品は、土居智江子さんによる夏目漱石の『門』のエスペラント訳です。読みごた

えがある作品ですから、ご期待ください。もちろんこれは、不在参加の方々にもお届けいたします。

宇治で開催された前大会の分科会で語られたように、会員の高齢化による関西大会の Rond 輪番開催の難しさがある中、お引き受けした高槻エスペラント会です。皆さん、是非参加登録を、そして1人でも多くのご参加を宜しくお願いいたします。



## ポリグロット・コンフェレンス

### ワークショップのレポート(1)

瀬下 政也 (埼玉県)

2019年10月18日から20日の3日間、福岡の九州産業大学でポリグロット・コンフェレンスが開催されました。私はそこでクラウドファンディングを行い、皆様の力をお借りしてエスペラントのワークショップを開きました。

まず本題に入る前に少しポリグロット・コンフェレンスについて紹介します。このコンフェレンスは英国のスーパーポリグロット、リチャード・シムコット (Richard Simcott) さんが開催する、言語好きのための国際的な祭典です。内容は言語学についての講義や参加者へ言語を紹介するワークショップや多言語話者同士の交流の場から構成されています。ある意味ではエスペラントの大会のイメージと近いものがあると考えますが、若者の比率が多いことと日本よりも欧州を中心に知名度を誇る点が大きな違いのように感じます。そのような特徴から、その祭典で今回、エスペラントのワークショップを担当し、エスペラントの知名度の向上を図ろうとした事が始まりです。最終的にリチャードさんに飛び込みでメールをぶつけ、売り込みを行い、見事ワークショップの枠組みを頂きました。

次に、どうしてクラウドファンディングを行ったのかと思う方もいらっしゃると思います。そのため、次に何故クラウドファンディングを行ったかを説明します。その理由は、エスペラントの活動が一般的に閉鎖的になってしまっているからです。エスペラントで何か面白いことを行なっても、その活動はエスペラント関係者にしか知らされないことが多いと

思います。それはエスペラントの機関紙や会報に依存しているからだと考えますが、その枷を外れて行動できないか考えた結果、クラウドファンディングに行き着きました。

今、日本のエスペラントを話せる人、学んでいる人は青年層ではわずかで、例えば日本エスペラント協会に約1,000人の会員がいますが、そのうち青年と呼べる人は30人程度しかおりません。それに言及する私の記事が日本青年エスペラント連絡会の"La Junuloj"にも掲載されたことがあります。今のうちから青年層を増やす努力をしないと、30年後にはエスペラントの青年は現在の年齢別会員数の増減の傾向を参考にすると、27人程度になってしまうかもしれません。ちなみに30年後の全体の会員数は677人でそのうち50歳以上の会員は397人。219人は80代で占められる超高齢化社会になる想定です。そのため、エスペラント運動とは離れた場所でもイベントを行いたいというのが、今回のクラウドファンディングを行うきっかけとなっています。

ワークショップの結果としては大成功でした。参加者は32名でほとんどがいわゆる青年の方でした。日本エスペラント協会からお譲り頂いた黄色の小冊子『通い合う地球のことは 国際語エスペラント』も不足してしまい、嬉しい悲鳴となりました。そして参加者は全員海外の方だけでした。話しただけでも、イングランド、スコットランド、フィリピン、ドイツ、中国など複数の国からワークショップ参加者がきてくれました。面白いことにこの人数の中でエスペラントを知っている人はあまりいませんでした。普通の日本国内の講義などではエスペラントの関係者で頭数を埋めてしまうことがよくありますが、そういうことはありませんでした。むしろ話しているエスペラントを見ること自体が初めてという方が圧倒的で、エスペラントが新鮮に映ったようです。(続く)

<編集部より>

文中にあるように、瀬下さんは参加のための費用をクラウドファンディングで募りました。そのリターン(寄付の見返り)として報告書を受け取った松川真木子さんから、筆者のご了解を得てこの原稿を提供していただきました。次号と2回に分けて掲載します。



Alejandro  
Sánchez  
Medina

青遠ニカ  
(Jung Yuro)

瀬下政也

Syuaqi  
Styala  
Lacksana

# Al Jaraj Bestoj mankas kato (G線上のアリア Ario sur la kordo G)

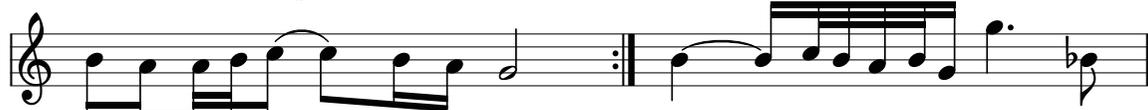
muz. Johann Sebastian BACH (1685-1750, el la dua MOVIMENTO de BWV1068); poez. SIMATANI TAKESI



1) Al Ja-raj Bes-toj man-kas ka - to Ĉar pri da-to trom-pis ra-to  
2) Dra - ko al-flu-gis en la ven - to Sek - vis ram-pe la ser-pen-to



Es - tas ra-to la u-nu-a Ve - nis la du - a jam bo - vo fru-a  
Tro ra-pi-das jen ĉe-va-lo Ŝa - fo, si - mi - o jam ne ri - va - lo



Kaj post ti-gro ve - nis ku-nikl' 3) La las-ta dek-du-a bes - to  
Ve-nis ko-ko, hun - do al lok'



a - pro fa-ri-ĝis kun ĉi-es a-tes-to Sed, ve, mal - fru-i - ĝis ka - to



Ve-nis ka-to ta-gon post e-lekt' Ĉar pri ta-go bes-tojn e - lek - ti men-so-ĝis ra - to



Kre - dis ĝin ka - to sen i - a sus-pekt' Ka - to mal-a - mas ra - ton por

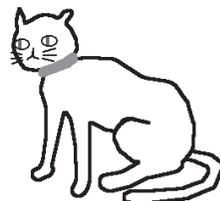


ĉi - am sen es-cept' Ne - ni-am ka - to ra-ton par-do - nos Sin ven-ĝos kun ne-ni-u neg-lekt'

1) Al Jaraj Bestoj mankas kato  
Ĉar pri dato trompis rato  
Estas rato la unua  
Venis la dua jam bovo frua  
Kaj post tigro venis kunikl'



2) Drako alflugis en la vento  
Sekvis rampe la serpento  
Tro rapidas jen ĉevalo  
Ŝafo, simio jam ne rivalo  
Venis koko, hundo al lok'



3) La lasta dekdua besto  
apro fariĝis kun ĉies atesto  
Sed, ve, malfruiĝis kato  
Venis kato tagon post elekt'  
Ĉar pri tago bestojn elekti mensogis rato

Kredis ĝin kato sen ia suspekt'  
Kato malamas raton por ĉiam sen escept'  
Neniam kato raton pardonos  
Sin venĝos kun neniŭ neglekt'

## Kato kaj Dek du Jaraj Bestoj

rerakontis SIMATANI Takesi

Antaŭ multaj jaroj Dio deklaris, ke Li asignos dek du zodiakajn signojn al bestoj, kiuj sin anoncos je difinita tago.

Kato tamen forgesis la daton. Ĝi demandis de Rato la daton. Rato ruza donis al Kato la daton unu tagon malfruan.

Ĉar Bovo marŝas tre malrapide, ĝi ekvojaĝis unu tagon frue. Rato surgrimpis sur la dorson de Bovo.

Kiam Bovo atingis antaŭ la pordon de Dia

Palaco, Rato desaltis de ĝia dorso, enkuris en la pordegon kaj anoncis sin la unua besto.

Poste ankaŭ aliaj bestoj alvenis kaj anoncis sin. Dio asignis ilin al dek du zodiakaj signoj. Jen la nomoj de la Dek du Bestoj: **Rato, Bovo, Tigro, Leporo** (aŭ Kuniklo), **Drako, Serpento, Ĉevalo, Ŝafo, Simio, Koko, Hundo kaj Apro** (aŭ Porko).

La sekvintan tagon alvenis Kato. Pordego-gardisto mokis la beston. "Ĉu vi dormas? Lavu al vi la vizaĝon por veki vin!"

Tial Kato ĉiam lavas al si la vizaĝon kaj ĉasas Raton por venĝi sin.

初心者のための

語尾なし単語の使い方 (83)

相川 節子

相関詞 (15) **nenia**

**nenio** や **neniu** の使用法でわかるように、**neni-**は「何もない」を意味します。**nenia** は「どんな種類の～もない」と言いたい時に使います。個人的な印象ですが、**nenio** や **neniu** に比べてより強い否定を感じます。

Ŝajnis, ke **nenia** besto vivas en la dezerto.

(その砂漠には、どんな動物もないように思えた)

La infano estis grave malsana, sed la gepatroj havis **nenian** rimedon por kuraci.

(その子どもは重い病気だったが、両親には治療するどんな手段もなかった)

**nenia** は日本語に直訳できませんが、使い方は難しくありません。

相関詞 (16) **kies**

**kies** は「誰のもの？」という質問をする時に使う単語です。

"Kies ombrelo estas ĉi tio?" "Tio estas mia."

La Movado 827

(「これは誰の傘ですか」「わたしのです」)

Kies nomon vi scias en tiu ĉi foto?

(この写真の中の誰の名前をご存知ですか)

**kies** は名詞に直接かかっていますから、形容詞のような働きをしています。しかし、**kiu** や **tiu** と違って、対格語尾や複数語尾がつくことはありませんので、形容詞と呼ぶのは無理でしょう。Plena Ilustrita Vortaro では品詞分類をせず **demanda morfemo kun pronomo rolo** (代名詞の役割をする疑問の形態素) としています。

他の **ki-vortoj** と同じように、**kies** は関係詞としても使われます。いや、関係詞の使用例の方が多い。

En la stacidomo mi renkontis grupon, **kies** lingvon mi ne konas.

(駅で、知らないことばを話しているグループに出会った)

La vojaĝanto atingis gastejon, tra **kies** fenestroj lumis lampoj.

(旅人は宿に着いた。宿の窓を通してランプが光っていた)

この項の最初に「誰の」という訳語をつけましたが、実はこのように、人間以外にも使われるのです。



## 長谷川テル関連本を展示して

光川 澄子（京都府）

京都では、春と秋それぞれ10日間「観桜祭」「観芸祭」と銘打って、京都府庁内のあちこちの場所を、各種活動団体に無料で開放

している。京都エスペラント会は2019年の「観芸祭」にも、この会の期間中だけ一般公開される重要文化財・旧議場の使用に申し込み、10月26日（土）の13時～16時にエスペラントの広報活動をした。

内容はエスペラントの紹介する静の展示と、坂田千香子さんの司会進行のもとに会員による動の催しの2本立て。

動の催しについては、本誌前号の運動欄で報告されている。新しく誕生した京都エスペラント会のバンド Gaja Espero の初演奏が会場を盛り上げた。

静の展示としては、正面両開きの扉の一方の机にエスペラントの販売本と説明パネルなどを展示。他の一方に机1台だけを置き、私光川澄子持参の本、『あごら』誌の記事「長谷川テルを辿る旅」、「闇を照らす閃光—長谷川テルと娘・暁子—」、「闇を照らす閃光 II」、「ありがとう 澤田和子さん」、せせらぎ出版『長谷川テル』、新評論『嵐の中のささやき』、亜紀書房『長谷川テル作品集』、同時代社『二つの祖国の狭間に生きる』（テルの娘暁子さんのサイン入り）、長谷川テル顕彰の旅訪中団『日中不再戦 長谷川テル顕彰の旅報告集』を並べて、そのうしろに次の二枚の簡単な説明を墨で描き、立てておいた。

● 結婚した日本に留学していた中国人学生・劉仁が、日中間の不穏化で一人中国へ帰国。その後を追ってテルも中国へ密航、対日反戦放送をし「売国奴」と呼ばれ、敗戦直後中国で病死。

● 命をかけて平和を訴えたエスペランティスト・長谷川テル（1912~47）日中戦争開戦直前1937年帰国した中国人エスペランティスト留学生の後を追って中国へ密航。日中戦争時、重慶の地下放送を通じ、日本軍に「無駄にあなた達の血を流さないで!!」と反戦放送をした平和活動家。一方日本では、当時この放送の声の主が分からず、『売国奴』と糾弾された。敗戦直後二人の子どもを残して、中国で病死。中国ジャムス市に、テル夫妻の立派な比翼墓碑があり、2020.1

テルの墓碑は日本に向けて、夫劉仁のは故郷本溪に向けて建っている。

ところで、この長谷川テル関連本の展示は、毎回同じ本を並べていたが、前回まではまれに一瞥する来場者がいるだけだった。

が、今回は初めから、この机の雰囲気があたたかく、机の前で立ち止まって一通り本の表紙を読む方、非売品と書いておかなかったため、『あごら』の本を手にとって「これ買います」と言われる方。閉会の4時直前になって、長谷川テルの年譜なども載っている『長谷川テル』を「ちょっと読まして下さい」と本を持って議員席に座っている方。この方には閉会ですからとお断りすると、残念そうに本屋で探しますと、よほど長谷川テルに関心を持たれたようだった。

それにしても今回のこの長谷川テルの展示が、何故これほどまでに来場者の関心、興味をひいたのか、私には理解できないままに展示は終わった。

## 在ポーランド松本照男さん、敦賀で講演

北川 昭二（福井県）

11月9日、福井県敦賀市のきらめきみなと館で「人道の港敦賀シンポジウム」が開かれ、ポーランド在住のエスペランティストでジャーナリストの松本照男さんが「ポーランドはなぜ親日国なのか？」と題して講演されました。この講演の中で松本さんは、「学生時代に2年間留学し、その後残留して都合53年に及んだが、当初ポーランド語がまだ十分でなかった自分が居続けることが出来たのは、エスペランティストであったから」とエスペラントの効用についてまず言及されました。そして、ポーランドの人たちが親日的なのは、①日露戦争で日本がポーランドの支配者だったロシアをやっつけてくれた、②その戦争でロシア兵の捕虜として捕まっていた8万人のうち20%いたポーランド人捕虜に対しても、とても親切な扱いをしてくれた、③1920年、ロシア革命直後のソ連から難を逃れて故国へ帰る途中の青少年763名の命を敦賀市民が救った、等々の体験を代々語り継ぎ、「桜の花咲く国・日本」として、好意的な感情を遺伝子にすり込んできたからだ、と語っておられました。過去の人たちの人道的な行為が世代を超えて今につながっているという、とても意義深い話でした。

## 吹田でふれあい講演会

吹田エスペラント会は毎年市民文化祭に参加してコンサートや講演会を行っているが、2019年は「ふれあい講演会」を行った。

11月3日(日・祝)14:30~16:30、千里山コミュニティセンター多目的ホールでエスペラントふれあい講演会「国境なき医師団・イラク活動報告」を開催。参加者は25人。

佐藤守男副会長の挨拶。次いで恒例の吹田第6中学校コーラス同好会による日本語、エスペラント、手話つきのコーラスを4曲披露。

休憩後は、メインの「国境なき医師団・イラク活動報告」の講演。講演者の佐藤真史さんは看護師で、2018年12月から半年間、イラクの第2の都市モスルで国境なき医師団の手術マネージャとして従事した。

プロジェクターの画像と国境なき医師団日本が発行の冊子により、国境なき医師団の組織、仕事の内容について説明された。国境なき医師団の役割は人命救助の医療活動を行うことであるが、活動で目撃したことを伝える証言活動も大事であり、講演活動もその一つであると。活動資金の96%が民間の寄付である。モスルについては、イラクの歴史的背景(フセイン政権の崩壊、イスラム国の台頭でモスルを占領、医療体制の壊滅)から国境なき医師団が支援することに。仕事場はトレーラー3台でリカバリ、手術室、洗浄滅菌室となる。手術室は狭く、一番の問題であった。また、イラクは医療が発展していたので、薬が外部からたくさん入ってきて、治療に効き目を考えずに使ったため薬剤耐性菌感染症の患者が多く、それとの闘いが重要だった。医師団従事を終えて思ったことは、興味のある人は国境なき医師団のイベントを開いてもらいたいと思う。証言活動も国境なき医師団の重要な仕事であるからである。

講演後の質疑も活発で、「ISの戦闘員も治療の対象になるか」など、6件の質問があった。

〔←大畑 賀代子〕

## 「憲法フェスタ」でエスペラントも

11月3日、和歌山市河北コミュニティセンター  
La Movado 827

で守ろう9条・紀の川市民の会主催の「第16回憲法フェスタ」が開かれた。その中で江川治邦さんが、第100回世界エスペラント大会(フランス・リール市)での「憲法9条にノーベル平和賞を」の署名活動と分科会の報告を行った。分科会での各国市民からの貴重な発言を披露しながらエスペラントにも触れ、1日遠足での第一次世界大戦の激戦地であったベルギーのイーペル市(歴史保護地区)の状況についても話をした。出席者80名にはパンフレット「世界がグッと近づくやさしいことばエスペラント」を配布した。

〔←江川 治邦〕

## 富田林の公民館まつりで

11月9~10日、富田林エスペラント会が「金剛公民館まつり」でエスペラントコーナーをもった。パネル3枚、机1つの小さいものだったが、エスペラントの説明を添えたぬり絵を用意して、来訪者に色を塗ってもらった。堺エスペラント会の応援もあり盛況だった。こども達は同伴者と一緒にぬり絵にある単語、数字、簡単なあいさつ、また「夏休みこども体験教室」で使ったすごろく34枚の絵の単語を発音した。日常のわかりやすい単語でもあったので親近感をもってもらえたようだ。同伴者・来訪者にはエスペラント習得が堅苦しい語学というイメージを持たれないよう、日常生活の中で生きた言葉として世界中で使われていることを強調した。

外国語を幼稚園、小学校で取り入れている昨今、こども達は違和感なくエスペラントになじんでいた。ぬり絵企画が即エスペランティスト養成にはつながらなくても、未来のエスペランティストを育てていく手助けになっているのではと思う。家庭で、また学校で今回の体験を話題にしてくれていればいいなど淡い期待を抱いている。次回は一歩進んだ企画を考えたい。

〔←藤井 由美子〕



# Vortkruca enigmo

## Redakcio

Vicigu adekvate 8 literojn trovitajn en la kvadratetoj kun steleto. Tiam vi akiros nomon de mambesto, kiu povas flugi en aero.

Sendu la trovitan vorton kiel solvon de la enigmo ĝis la 20-a de januaro, paperpoŝte al la oficejo de KLEG, aŭ retpoŝte al <lamovado@gmail.com>.

Rimarko: (x) signifas, ke la vorto ne portas finaĵon.

1	2	3	4	5	6	7	8
9			*				
		10				11	*
	12				13		
14		*		15		16	*
17	*		18	19	20		
21		22	23			24	
25			26	*	27	28	*
		29	*	30			

**Horizontale:** 1. Tempo post sun-subiro. (x) 7. Prepozicio.(x) 9. Homo, kiu ne povas legi nek skribi.(x) 10. Ne-fakulo.(x) 11. Malo de "jes".(x) 12. Komuna manĝo kun multaj partoprenantoj.(x) 14. ~ologio estas scienco pri klimato kaj vetero.(x) 15. Kiam multe da polenoj de kriptomerio ŝvebas en la aero, mi ofte ~as pro alergio.(x) 17. Participo futura.(x) 18. Kvin minus tri estas ~.(x) 20. Mi atingus ĝustatempe, ~ la akcidento ne okazus.(x) 21. "Kio estas via ~o?" "Mi ~iĝas Petro".(x) 23. La fiŝisto kaptis fiŝojn per ~o.(x) 25. Japanio ~is Koreion en 1910.(x) 27. Participo preteria.(x) 29. Interjekcio de bedaŭro aŭ malĝojo.(x) 30. Laŭ multaj religioj la ~o iras al Paradizo disde 2020.1

la korpo ĉe la morto.

**Vertikale:** 1. Malalta loko inter montoj.(x) 2. Interne de.(x) 3. Manĝaĵo el legomoj kun saŭco. (x) 4. La Tero estas la tria ~o de la sun-sistemo. (x) 5. La medikamento ~is kaj la paciento resaniĝis.(x) 6. Veturilo uzata en kosmo.(x) 7. La hundo estas ligita per ~o.(x) 8. Por ĉiam.(x) 12. Malmola materialo uzata en konstruado. (x) 13. Antaŭfiksi vivcelon de iu homo.(x) 14. Unu jaro konsistas el dekdu ~oj.(x) 16. Prefikso signifanta ripeton.(x) 19. La plej granda sovaĝbesto en Japanio.(x) 22. Birdo vivanta apud maro.(x) 24. Mallongigo de "antaŭtagmezo". (x) 26. Subjunkcio.(x) 28. Mi kaj vi, mi kaj ili.(x)

La solvo al la novembro enigmo: **KANDELO**

La ĝustan solvon donis 14 legantoj:

水渡 篤子

山野 敏夫

濱田 國貞

CA

sayuri

西 千寿子

前藤 寛

Grebo

TADA

松川 まきこ

平井 倭佐子

本田 照美

Kacu

中村 文雄

N	O	V	E	M	B	R		L
A	R	A	N	E		E	R	A
J		L		S	K	L	A	V
B	L	O	V		R		B	
A		R	E	G	U	L		S
R	E		N	O	D		F	E
	P	A	T	R		A		U
S	O	L		Ĝ	E	M	E	L
E	K	I	P		C		G	O

## 楽しい作文教室 (101) 成績

11 人の方から応募がありました。( ) 内は留意事項です。

うん、良いね：ヒー坊、水渡 (① eksperta)、

Ivajo (④ decides)。

良いね：AG, Ĉielo, CA (③ studento), Eiko,

Celejo, Haveno (① eastis), ikona (③ studento),

Drako (② la, ③ studento)。

キラリ賞：CA (④ prepari), 水渡 (④ eldoni),

Celejo (④ kompili)。

## Mikspoto (当欄は敬称略)

☆ 11月2日付朝日新聞「be」ページの「悩みのつぼ」欄に、「エスペラントハラスメント」という見出しの投稿。元上司がエスペラントを押し付けてくる、これはハラスメントではないかという相談。回答者の清田隆之は、断り方の具体的な助言をした上で「相手の心情や背景を熟慮した上で適切な言葉を模索していく力は、多様性を重んじる社会に置いています。重要になっていくはず。それはおそらく、エスペラントが目指す未来とも重なるものだと思うのです」と結んでいる。 [←西千寿子ほか]

☆ 11月19日付上毛(じょうもう)新聞に、「堀さんがエッセー エスペラントで震災や外国事情」という写真入りの記事。『世界の旅人・堀さんの気ままエッセー』第9巻の内容を紹介している。

[←堀 泰雄ほか]

☆ 劉慈欣(Liu Cixin)著『三体』(2019年早川書房刊)に登場する地球外文明との交信規約に「サポートする言語の種類: 中国語、エスペラント語」とある。原著(2006年)は中国で人気を博し、英語に訳されて翻訳作品として初めてヒューゴー賞を受賞(2015年)。オバマ大統領(当時)も愛読書にあげた。 [←島谷剛]

### 楽しい作文教室3月号課題

(2020年1月20日締切)

- ①彼女はその会議の出席者リストを作った。
  - ②出席者の数は重要だ。
  - ③彼はそのリストをシュレッターで細切れにした。
  - ④その会議で承認された予算は有効か？
- (ヒント) シュレッター dokumentdetruilo、予算 buĝeto. dispecigi、aprobi を調べましょう。日本語の原文の内容が、相手にはっきり伝わるように考えて訳してください。
- 送付先：  
[郵送] 〒674-0092 明石市二見町東二見 515-1-811 塚本 猛  
[電子メール] c\_tak@esperanto.ne.jp  
(件名に「作文」の文字を入れてください)  
添削は受け付けておりませんのでご了承ください。

## KLEG 事務局だより

★ KLEG 事務所は、12月29日(日)から1月5日(日)まで休みます。ご協力をお願いします。

★当誌 La Movado は何月からでも購読できますが、12月に更新時期を迎える方が一番多いです。個人会費、購読料の切れる方は、更新をよろしく願います。

同封している更新用の振替用紙(青)をご利用ください。

★メールアドレスをお持ちの方には、新刊案内「Novaj Libroj」を発信しています。希望される方は、事務局までご連絡ください。

### KLEG 後援会へのご寄付 (2019年11月、敬称略)

菊島 和子	10,000 円
大西 真一	2,000 円 (切手として)
清水 英孝	1,000 円

他に田平正子さんから A5 版封筒 185 枚をご寄付いただきました。ご支援、ありがとうございます。

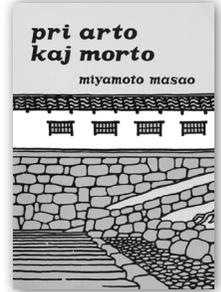
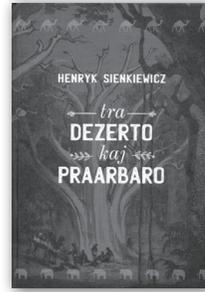
### KLEG 後援会にご協力を

関西エスペラント連盟(KLEG)は、消費税増税や経費の増大に抗して、数十年間会費や購読料の値上げをせずに、エスペラント界ではまれな機関誌年12回発行を継続しています。しかし、残念ながら会費・購読料や行事収入、図書の売り上げだけでは、日常的な経費もまかなえません。

もちろん KLEG は日常活動に加え、アジアの若者を関西大会に招待するなど、さまざまな活動にも取り組んでいます。また今年度は、ワン・ワールド・フェスティバルに再度参加し、また独自の広報用三つ折りチラシを作成します。

これらの活動を支援するため、「関西エスペラント連盟後援会」(振替口座 00940-1-26233)へのご寄付をお願いします。「出版基金」、「青年活動支援」、「アジア運動支援」など用途を指定することもできます。

今月号に専用の振替用紙(赤)を挟みこんでいますのでご利用ください。なお、この振込用紙は、後援会専用ですので、会費/購読料や書籍代金の送金などには使用しないでください。



## ★ 新刊・新着 ★

**世界の旅人・堀さんのエスペラント気ままエッセー9** 1200円  
堀泰雄の好評エッセー集最新刊。小説、中之条ビエンナーレ出品作、東日本大震災被災地訪問記、世界情報など多彩な内容。B5判、208p。  
※第2巻～第8巻も在庫あり(1200～1300円)

**Ĉasisto de songoj** 1200円  
人気作家 Julian Modest の最新刊。表題作をはじめ“Fideleco”, “Neordinara propono”, “Enigma silueto” など 27 編の短編を収録。A5判、108p。

**La verda koro** 1000円  
Julio Baghy によるやさしい読み物(第7版)。“La kurso”, “El la taglibro de Marja” など 11 の短編。B5判、65p。

**Ok noveloj** 1900円  
ポーランド作家の翻訳小説集。「クオ・ヴァディス」のシェンキェヴィチ、「ファラオ」のプルス、他にオルジェシュコワなど。B5版、162p。

**Tra dezerto kaj praarbaro** 4100円  
シェンキェヴィチがアフリカを舞台に描いた長編小説の再刊(Sygnarski 訳。初版は1978年刊)。B5版、337p。

**Baza literatura krestomatio** 3700円  
定評ある文芸読本の新版(第4版)。Zamenhof や Grabowski にはじまる文学を大観する。Nemere, Ŝtimec, Modest, Camacho らを増補。A5判、368p。

## ★ 宮本正男の作品 ★

**Pri arto kaj morto** (第2版) 1000円  
山上憶良、大伴家持、世阿弥、千利休、芭蕉、写楽、歌麿、晶子の芸術と生の軌跡を描く。

**日本文学に現れたエスペラント** 800円  
大江健三郎、中野重治、山本有三らの作品に描かれたエスペラント。年譜など付録も充実。

**Vivo kaj verkoj de Miyamoto Masao** 800円  
没後10周年記念追悼文集。Auld, Benczik ら執筆。

**La obstino** 800円  
宮本訳の中島敦「山月記」「名人伝」「李陵」。

## ★ 再入荷(一部価格を変更) ★

**Cent jaroj da soleco** 3600円

**Decido kapitalismo aŭ klimato** 2100円

**La 13 horloĝoj** 600円

**Lasu min paroli plu!** 2300円

**Plano B** 2800円

**Somermeznokta sonĝo** 250円

**La tempesto** 250円

**La vintra fabelo** 1200円

ご注文は郵便、ファクス、電子メールで。送料は実費。現品と一緒に請求書を送ります。支払いは振替口座で。

## 編集ノート



☆ 運動欄の活動報告や行事の予定については、ほかにも貴重な情報をいくつかいただいておりますが、誌面の都合や締切日の関係で掲載できませんでした。申し訳ありません。(島谷剛)

発行所：ラ・モバード社 編集：相川節子 発行人：染川隆俊 定価280円 送料63円 1年3800円 送料共本局：一般社団法人 関西エスペラント連盟内 561-0802 豊中市曾根東町1-11-46-204  
電話(06)6841-1928 ファクス専用(06)6841-1955 電子メール：esperanto@kleg.org  
振替口座 00960-1-60436 「一般社団法人 関西エスペラント連盟」 ホームページ：http://www.kleg.org  
九州支局：九州エスペラント連盟内 859-0407 長崎県諫早市多良見町シーサイド2-190 盛脇保昌方 電話(0957)43-4352  
中国四国支局：中国四国エスペラント連盟内 771-0371 徳島県鳴門市北灘町櫛木字観音面14-1 木谷拳子方 電話(088)688-1098